

## 訂正とお詫び

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。  
(編集部)

### ■ 2006年3月号

#### ● 電子部品選択&活用ガイド

p.117 写真11, 写真12, 写真13, 写真16のキャプション：エヌビーシー→ビーシーエヌ

#### ● 特集

p.121 写真1：EEPROM93C46→LMC662CN

p.128 図3：1000 p/2 kVの上は交差でなく交点

p.132 図7：左のメモリ・マップ中の空白部分は「未使用領域」

p.141 図16：送信パケット・サイズ<64バイト?→送信パケット・サイズ<60バイト?

p.141 図16：送信パケット・サイズを64バイトに→送信パケット・サイズを60バイトに

p.158 図6：③-2の「戻る」を削除

p.158 図6：④-2の「戻る」を削除

p.161 図13：packetpnt上の「移動」の矢印は「IPヘッダ」の長さ

p.168 図28 フラグの解説文2行目：下位16ビットは→下位13ビットは

p.174 写真1：EEPROM93C46→LMC662CN

p.175 図2： $R_{14}$  24 kΩ→2.4 kΩ

p.175 図2： $R_{18}$  24 kΩ→2.4 kΩ

p.175 図2：中央上のLEDはREDと

YELLOWとが逆

p.175 図2： $IC_3$ の11ピン～14ピンおよび18ピン～28ピンはGNDに接続する。

p.175 図2  $IC_3$ の左上、EESKのピン番号：78→79

p.175 図2： $IC_3$ の左上、80ピン(BD4)はどこにも接続しない

p.175 図2  $IC_1$ の1ピン( $\overline{CS}$ )の接続先： $IC_3$ の77ピン→76ピン(EESK)

p.175 図2  $IC_1$ の2ピン(SK)の接続先： $IC_3$ の80ピン→79ピン(EESK)

p.175 図2  $IC_1$ の3ピン(DI)の接続先： $IC_3$ の78ピン(EESK)→78ピン(EEDI)

p.175 図2  $IC_1$ の4ピン(DO)の接続先： $IC_3$ の78ピン(EEDI)→77ピン(EEDO)

p.177 図7 R8C/11のA-D値上限：1024→1023

p.182 図12 右↓2個目：count > 10? → count >= 10?

#### ● SPICE 実用電子回路講座

p.205 図13-5：右下1.55 mAの矢印の向きを逆にする

p.206 左↓20行目： $R_5$ → $R_6$

#### ● ホット・デバイス・レポート

p.228 図1：過電圧保護回路→低電圧保護回路

p.229 左7行目：表1→表2

p.232 図7キャプション： $47 \mu F \times 1$ 個並列と→ $47 \mu F \times 1$ 個と

#### ● MSP430用簡易書き込みアダプタ

p.270 右4行目：slaa0096b→slaa096a

p.270 右4行目：slaa0089b→slaa089b

p.271 図1 FT2232CのVCCIOAのピン番号：4→14

p.271 図1 FT2232Cの3V3OUTのピン番号：17→6

p.271 図1 CP2102左のコンデンサ： $4.7 \mu$ 電解→ $0.1 \mu$ セラミック

p.271 図1 CP2102右のコンデンサ： $1 \mu$ 電解→ $4.7 \mu$ 電解

p.271 図1：DTC143→DTC143Z

p.271 図1 DTC143Z中の抵抗値：入力側4.7k, GND側47k

p.272 左↓15行目：DTC143→DTC143Z

#### ● 転ばぬ先のノイズ対策

p.279 図12-5：往路電線→往路電流

#### ● 別冊付録

はじめに 最終行：2005年→2006年

p.65 右↓7行目：ダイアログ→変数

p.70 図6-4：出力電圧と出力電流が逆

p.71 左↑3行目：PSpice評価版で→簡単な解析はPSpice評価版で

p.77 左↓1行目：トランスなど→ただし、コイルの場合は、トランスなど

p.77 左↓1行目：場合は→場合に